



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月8日

上場会社名 TOWA株式会社

上場取引所 東

コード番号 6315 URL <http://www.towajapan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 博和

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部長 (氏名) 柴原 信隆

TEL 075 - 692 - 0251

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,731	37.8	575		655		498	
2019年3月期第1四半期	7,612	7.7	636	37.2	694	30.9	481	27.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 984百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 254百万円 (68.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	19.92	
2019年3月期第1四半期	19.26	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	43,389	26,478	60.8
2019年3月期	43,968	27,722	62.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 26,380百万円 2019年3月期 27,616百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		16.00	16.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,000	8.5	400	54.2	420	56.0	320	63.7	12.80
通期	30,000	6.1	1,600	70.8	1,620	72.4	1,165	32.7	46.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	25,021,832 株	2019年3月期	25,021,832 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	12,560 株	2019年3月期	12,526 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	25,009,280 株	2019年3月期1Q	25,009,523 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想等に関する詳細は、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 四半期決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、長引く米中貿易戦争による先行き不安から、世界の貿易が縮小傾向に転じる等、中国経済の減速にとどまらず他国への影響も深刻化しております。また、堅調であった米国経済も設備投資の軟化や製造業の弱さなど成長鈍化の兆候が見られ、景気見通しに不透明感が増す等、世界的に景気の減速懸念が高まりました。日本経済につきましても、中国経済の成長鈍化等にもない輸出や生産の弱さが続いており、景気の先行きは不透明な状況であります。

半導体業界におきましては、下げ止まらないメモリー価格の影響等により、大手半導体メーカーを中心に収益悪化が続いております。また、対立が深まる米中貿易戦争に加え、日韓貿易問題により半導体市場に新たな懸念が生じる等、市場の先行きはより一層不透明な状況に陥っております。一方で、次世代通信規格「5G」の実用化や、あらゆるものがネットにつながる「IoT」デバイスの増加、AI（人工知能）の活用範囲の拡大等を見据え、関連企業は設備投資に対して引き続き前向きな姿勢を示しており、中長期的には半導体需要の拡大傾向が続くものと予想されます。

このような状況のもと、当社グループは現在の厳しい市場環境を収益力強化の機会ととらえ、グループ一丸となり、徹底的な原価低減の取組みや固定費の見直し及び生産・開発体制の見直し等、企業体質の変革を進めてまいりました。また、超精密・微細加工技術、コーティング技術等のコア技術を応用展開した新たな事業を成長軌道に乗せ、半導体の市況に左右されない安定した収益体質を実現できるよう、新規事業の積極展開を進めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高47億31百万円（前年同期比28億80百万円、37.8%減）、営業損失5億75百万円（前年同期は営業利益6億36百万円）、経常損失6億55百万円（前年同期は経常利益6億94百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失4億98百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益4億81百万円）となりました。

なお、セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[半導体製造装置事業]

半導体製造装置事業における経営成績は、メモリー価格の下落やスマートフォン需要の減速、米中貿易戦争等による先行き不透明感が顧客の投資判断に大きく影響を及ぼしており、投資マインドの回復に想定以上の時間を要していることから、売上高38億5百万円（前年同期比34億43百万円、47.5%減）となりました。

収益面では、前第4四半期から継続する原価低減の取組みに加え、固定費の見直しを行いました。売上高が大きく減少したことから、営業損失6億43百万円（前年同期は営業利益6億6百万円）となりました。

[ファインプラスチック成形品事業]

ファインプラスチック成形品事業における経営成績は、売上高4億2百万円（前年同期比39百万円、10.9%増）、営業利益50百万円（前年同期比19百万円、64.7%増）となりました。

[レーザー加工装置事業]

レーザー加工装置事業における経営成績は、売上高5億22百万円、営業利益17百万円となりました。

なお、レーザー加工装置事業につきましては、前第2四半期連結会計期間（2018年8月）にオムロンレーザーフロント株式会社の株式を取得し、新たにセグメントを追加いたしました。そのため、当第1四半期につきましては前年同期比を記載しておりません。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において先行きの不透明感があるものの、第2四半期連結会計期間以降の回復を想定していることから、2019年5月13日の「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想は変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,651,770	7,489,505
受取手形及び売掛金	9,352,845	7,913,160
電子記録債権	188,866	299,616
商品及び製品	1,342,004	1,925,912
仕掛品	6,294,751	6,165,661
原材料及び貯蔵品	645,928	647,218
その他	1,361,554	1,218,332
貸倒引当金	△2,645	△1,846
流動資産合計	26,835,077	25,657,562
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,167,032	14,080,887
減価償却累計額	△10,245,271	△10,270,306
建物及び構築物 (純額)	3,921,760	3,810,581
機械装置及び運搬具	10,685,952	10,605,165
減価償却累計額	△8,108,730	△8,162,432
機械装置及び運搬具 (純額)	2,577,221	2,442,733
土地	4,366,480	4,352,961
リース資産	17,459	676,107
減価償却累計額	△15,729	△30,761
リース資産 (純額)	1,729	645,345
建設仮勘定	665,207	1,077,738
その他	3,501,952	3,495,981
減価償却累計額	△2,917,120	△2,940,159
その他 (純額)	584,831	555,821
有形固定資産合計	12,117,231	12,885,182
無形固定資産	657,648	595,365
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	145,061	155,623
その他	4,214,072	4,095,829
貸倒引当金	△367	△367
投資その他の資産	4,358,766	4,251,086
固定資産合計	17,133,646	17,731,634
資産合計	43,968,723	43,389,197

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,631,020	1,658,309
電子記録債務	953,563	714,571
短期借入金	5,500,000	6,200,000
1年内返済予定の長期借入金	910,000	1,000,000
未払法人税等	162,353	153,733
製品保証引当金	129,865	199,900
賞与引当金	544,231	342,476
役員賞与引当金	33,012	7,887
その他	1,621,794	1,868,897
流動負債合計	11,485,841	12,145,778
固定負債		
長期借入金	4,086,875	3,783,125
退職給付に係る負債	666,803	675,085
その他	6,242	307,050
固定負債合計	4,759,921	4,765,260
負債合計	16,245,762	16,911,038
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,932,627	8,932,627
資本剰余金	462,236	462,236
利益剰余金	16,715,938	15,957,219
自己株式	△11,305	△11,337
株主資本合計	26,099,497	25,340,745
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,417,201	1,323,654
為替換算調整勘定	53,368	△329,341
退職給付に係る調整累計額	45,968	45,333
その他の包括利益累計額合計	1,516,538	1,039,646
非支配株主持分	106,925	97,765
純資産合計	27,722,961	26,478,158
負債純資産合計	43,968,723	43,389,197

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	7,612,408	4,731,450
売上原価	5,600,826	3,887,952
売上総利益	2,011,581	843,497
販売費及び一般管理費	1,374,614	1,419,207
営業利益又は営業損失(△)	636,966	△575,709
営業外収益		
受取利息	2,318	9,217
受取配当金	23,753	23,613
雑収入	43,195	21,870
営業外収益合計	69,266	54,702
営業外費用		
支払利息	5,500	14,140
為替差損	—	119,206
雑損失	6,415	1,579
営業外費用合計	11,915	134,926
経常利益又は経常損失(△)	694,318	△655,933
特別利益		
固定資産売却益	13,141	—
特別利益合計	13,141	—
特別損失		
固定資産売却損	135	—
固定資産除却損	153	250
特別損失合計	288	250
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	707,171	△656,184
法人税等	225,576	△153,903
四半期純利益又は四半期純損失(△)	481,594	△502,280
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△4,210
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	481,594	△498,069

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	481,594	△502,280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△155,520	△93,546
為替換算調整勘定	△67,067	△387,659
退職給付に係る調整額	△4,148	△635
その他の包括利益合計	△226,736	△481,841
四半期包括利益	254,858	△984,121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	254,858	△974,961
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△9,159

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

当第1四半期連結会計期間より一部の在外子会社について、IFRS第16号を適用しております。

これにともない、借手のリース取引については、原則すべてのリースについて使用权資産及びリース負債を認識するとともに、使用权資産の減価償却費とリース負債に係る支払利息を計上しています。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間期首の固定資産が342,950千円増加、流動負債が128,104千円減少、固定負債が328,303千円増加、利益剰余金が142,752千円増加しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。